

令和元（2019）年度 学修成果に関するアンケート 集計結果

1. 概要・目的

教学 IR の一貫として学生の学修成果に関する自己評価を把握し、今後の教育内容を検討する際の一つの資料とすることを主な目的としている。

2. 実施方法

令和元（2019）年度地域共創学群卒業生を対象に実施。

各卒業生に調査書を郵送し、記入後、同封した返信用封筒にて返送回収。

3. 実施状況

対象者：485 人 / 回答者：235 人（うち専攻不明 4 人） / 回収率 48.5%

※所属別回収率

経済学：41.8%、地域創生：33.3%、経営学：46.8%、法学：56.9%、現代政治：20.0%

英語：35.4%、ロシア語：53.3%、歴史文化：41.7%、日本語・日本文化：71.4%

中国語・中国文化：85.7%、異文化コミュニケーション：57.1%、スポーツ文化：58.3%

現代教養：40.0%

4. 集計結果

- ・ 設問 1（一般的な教養）、設問 4（専門的な知識）、設問 8（情報収集・分析力）、設問 10（自ら考え行動する力）については、高い数値となった。
- ・ 設問 5（地域貢献）、設問 7（社会の変化への対処）については、他と比較し低い数値となった。
- ・ 設問別および所属別の回答状況については、別紙「集計データ」を参照。

5. 設問及び回答

ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーに関連する 11 問で構成し、学修成果に関する自己評価について選択式のアンケートを実施した。

各設問の回答は次のとおり。

【設問 1】

基盤教育科目の学修を通じて、一般的な教養が身についたと思いますか。(DP：知識・理解／CP②)

選択肢： a とても身についた b 身についた c 少し身についた d あまり変わらない

<a 56 人 (23.9%) b 140 人 (59.8%) c 27 人 (11.5%) d 11 人 (4.7%)>

【設問 2】

基盤教育科目の学修を通じて、基礎的な語学力が身についたと思いますか。(DP：技能・表現)

選択肢： a とても身についた b 身についた c 少し身についた d あまり変わらない

<a 55 人 (23.6%) b 107 人 (45.9%) c 47 人 (19.7%) d 25 人 (10.7%)>

【設問 3】

基盤教育科目の学修を通じて、社会人としての基礎知識が身についたと思いますか。(CP②)

選択肢： a とても身についた b 身についた c 少し身についた d あまり変わらない

<a 62 人 (26.5%) b 109 人 (46.6%) c 47 人 (20.1%) d 16 人 (6.8%)>

【設問4】

専攻の学びを通じて、専門的な知識が身についたと思いますか。(DP：知識・理解／CP③)

選択肢： a とても身についた b 身についた c 少し身についた d あまり変わらない

〈a 93人(39.7%) b 105人(44.9%) c 33人(14.1%) d 3人(1.3%)〉

【設問5】 ※設問4で、a・b・cのいずれかを選択した方にお聞きします。

専門的な知識・技能を活かして、地域の発展に貢献する意欲が高まったと思いますか。

(DP：関心・意欲)

選択肢： a とても高まった b 高まった c 少し高まった d あまり変わらない

〈a 53人(23.0%) b 93人(40.4%) c 59人(25.7%) d 25人(10.9%)〉

【設問6】

全学に開放された専門科目を活用できたと思いますか。(CP①)

選択肢： a とても思う b 思う c 少し思う d あまり思わない

〈a 65人(27.8%) b 110人(47.0%) c 45人(19.2%) d 14人(6.0%)〉

【設問7】

変化を繰り返す社会に対し、持続的かつ総合的に対処できるようになったと思いますか。

(DP：知識・理解)

選択肢： a とても思う b 思う c 少し思う d あまり変わらない

〈a 49人(20.9%) b 98人(41.7%) c 68人(28.9%) d 20人(8.5%)〉

【設問8】

情報を収集・分析する力の両方が身についたと思いますか。(DP：技能・表現)

選択肢： a とても身についた b 身についた c 少し身についた d あまり変わらない

〈a 66人(28.1%) b 121人(51.5%) c 41人(17.4%) d 7人(3.0%)〉

【設問9】

考察した内容を他者に分かり易く表現し、伝える力が身についたと思いますか。(DP：技能・表現)

選択肢： a とても身についた b 身についた c 少し身についた d あまり変わらない

〈a 60人(25.6%) b 112人(47.9%) c 53人(22.6%) d 9人(3.8%)〉

【設問10】

課題を前にした時に自ら考え行動する力が身についたと思いますか。(CP④)

選択肢： a とても身についた b 身についた c 少し身についた d あまり変わらない

〈a 83人(35.3%) b 114人(48.5%) c 33人(14.0%) d 5人(2.1%)〉

【設問11】

地域において他者と共に新しい価値を生み出す力が身についたと思いますか。

(DP：態度・志向性)

選択肢： a とても身についた b 身についた c 少し身についた d あまり変わらない

〈a 62人(26.4%) b 108人(46.0%) c 48人(20.4%) d 17人(7.2%)〉

6. その他

次年度以降の実施方法及び設問内容等は、適宜検討し必要に応じ変更することとする。

〈参考〉

札幌大学地域共創学群ディプロマ・ポリシー

建学の精神「生気あふれる開拓者精神」のもと、「地域共創」の理念を体現し、教育目標に謳われる「生気に溢れ、知性豊かな、信頼される人間」に成長し、以下に掲げる資質を身につけ、所定の単位を修得した学生に学位を授与します。

<知識・理解>

言語、歴史、自然、文化、政治、経済、産業、社会、法制度、地域、国際、スポーツの諸側面から人間と社会に関する理解を深め、急激な変化を繰り返す21世紀の社会に対し、持続的かつ総合的に対処できる広い視野と知識を身につけていること。

<関心・意欲>

地域の政治、経済、産業、社会、文化の発展を希求し、経済学、外国語学、経営学、法学、文化学に関する専門知識を駆使してその推進に貢献する意欲を身につけていること。

<技能・表現>

基礎的な語学力をベースに国境を越えて発展する地域の諸相を見聞・体感し、情報を収集・分析する技能と、それを分かり易く表現する能力を身につけていること。

<態度・志向性>

地域の取り組みに参加することを通じて、地域において他者と共に新しい価値を生み出す力、すなわち「地域共創力」を身につけていること。

札幌大学地域共創学群カリキュラム・ポリシー

学位授与の方針を踏まえ、自由な学びを通じて主体性を育み、総合的な教養を涵養するために、以下の方針に基づき教育課程を編成します。

なお、単位認定にあたっては成績評価基準に基づく厳格な評価を行います。

- 1.全学共通の基盤教育科目と全学に開放された専門科目を配置し、多様な学びを提供します。
- 2.基盤教育科目では、豊かな教養とグローバル世界に対応できる語学力、社会人としての基礎知識を身につけるための科目を配置します。
- 3.専門科目では、主専攻の深い専門性を担保する科目を配置すると共に、副専攻をも視野に入れた専攻の枠にとらわれない科目群を提供します。
- 4.地域を共に創造する「地域共創」の理念を、自ら考え行動し体験知として身につけるため、アクティブラーニングを重視します。